



# パワーアップ確認問題 五年国語

点

五年（ ）（ ）組 名前（ ）（ ）

1 読書のことについて書かれた新聞の【コラム】です。【コラム】は、全体の内容が1から5までのまとまりに分かれています。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

1▼四月二十三日は「子ども読書の日」。世界では、「世界本の日」とも呼ばれている。本とその作者たちを敬うとともに、読書の楽しみを味わう日である。2▼子供のころ、宮沢賢治の『セロ弾きのゴーシュ』に夢中になった。楽団の中で、一番へたなセロ弾きであるゴーシュが、動物たちとの出会いを通して成長していく様子に心がおどった。3▼ある作家の言葉に、「読書というものは、その時その時によって読みの味わいがちがう」というものがある。子供時代に読んだ本を大人になって読み返すと、また別の楽しみが味わえるものだ。4▼先日、『セロ弾きのゴーシュ』を再び読んだ。当時は気付かなかった人物の見事なえがき方やたくみな描写に、賢治のすばらしさを実感した。5▼世界の人々が本について考える日。子供はもちろん、かつて子供であった大人も童心に返って本を楽しむ。そんなひとときもよいものだ。

「描写」…かき表すこと  
「童心」…子供の心

(1) 筆者は、「子ども読書の日」について、自分の読書体験を交えながら書いています。その体験が書いてあるまとまりを、【コラム】の中の1から5までの中から二つ選んで、その番号を書きましよう。


(2) 筆者は自分の思いや考えを根拠付けるためにある言葉を引用しています。それは、どの言葉ですか。最も適切な言葉のはじめの五文字を書きぬきましょう。ただし、句点(。)、読点(、)、かぎ「『』」は字数にふくみません。

(二〇点)

--	--	--	--	--

【百科事典の記述の一部】

サクラ【桜】

日本のサクラは、美しく、たくさんの種類がある。

～(中略)～

サクラは古くから日本の人々に親しまれている。花見は、サクラの花を見て楽しみ、春の訪れを感じる行事として広く行われている。また、サクラは、短歌や俳句などの題材として取り上げられている。

サクラは、日常の生活の中でも使われている。塩づけにしたサクラの葉でもちをくるんだものは、桜もちと呼ばれる。桜湯とは、塩づけにしたサクラの花を湯に入れたもので、お祝いのときなどに飲まれている。サクラの樹皮は、皿や茶づつなどの工芸品として使われている。

～(内容が続く)～

【ノートの一部】

サクラ〈桜〉

○花見…サクラの花を見て楽しみ、春の訪れを感じる行事

○短歌や俳句…サクラを題材として取り上げている

親しまれ方

○桜もち…塩づけにしたサクラの葉で  
もちをくるんだもの

○  …塩づけにしたサクラの花を  
湯に入れたもの

食品

使われ方

○樹皮を使って作られた皿や茶づつなど

～(内容が続く)～

(110点)

イ

ア

2 野村さんは、サクラについて興味をもち、百科事典で調べて分かったことをノートにまとめました。  の中からそれぞれぬき出しましょう。  の中に入るふさわしい言葉を【百科事典の記述の一部】の中に入ります。

③

漢字辞典の使い方を理解する問題です。

(各五点)

(1) 総画さくいで次の漢字を調べます。( ) に総画数を書きましよう。

近 ( ) ( ) 字 ( ) ( ) 引 ( ) ( )

(2) 調べたい漢字の読み方だけが分かっているとき、漢字辞典をどの方法で引けばよいでしょうか。

あてはまるものを一つ選び ( ) に○を書きましよう。

- ( ) ( ) 総画さくいん
- ( ) ( ) 音訓さくいん
- ( ) ( ) 部首さくいん

④

次の故事成語の使い方として、最もふさわしいものを1〜3の中から一つ選び、に数字を書きましよう。(二つ五点)

(1) 「五十歩百歩」

- 1 姉と私は、残りのケーキをどちらが食べるかでもめていた。すると、母が私たちを注意して、もめごとに関係のない弟に食べさせた。弟にとっては、**五十歩百歩**だ。
- 2 私たちの学級では、学年で行われる学級対抗ドッジボール大会での優勝をめざして、他の学級よりも早く練習を始めた。だから優勝ができたのは、**五十歩百歩**だ。

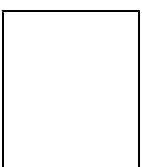
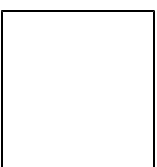
3 白石さんと黒野さんが、縄跳びで五回ミスしたか、六回ミスしたかで言い争っていた。このようなことと言い争う二人は、**五十歩百歩**だ。

(2) 「矛盾」

1 彼は、これから勉強を頑張ると言っているながら、寝転びながらマンガを読み始めた。彼の行動は**矛盾**している。

2 この試合に負けると、僕たちの学年の試合は終わるので、頑張ろう。これこそ**矛盾**である。

3 彼は、一生懸命勉強して、検定を合格することができた。まさに**矛盾**だ。



5

の中に、線が引かれている漢字はひらがなを、ひらがなは漢字を書きましよう。

(二つ五点)

(1) 緑茶を飲む。

(2) 健康でいることはよいことです。

(3) それはしょうじみの電池です。

(4) すいおんがぐんぐん上がっている。